



木曾地区協議会

会報 2025年度 1号
発行 木曾地区協議会
会長 一戸雅行
連絡先 市民協働推進課

2025年度会報の発行に当たり、木曾地区協議会の事業計画並びに
会長からの挨拶と、活動状況をご報告いたします。

いつも木曾地区協議会の活動にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。代表になって一年が経ちましたが、代表が変わったからと言って、何かがガラッと変わった訳ではなく、いつものように地域の課題を聴くところから、役員を中心に地域協力者と一緒に活動をしてきました。



私たちは、地域の困りごとに向き合い、何とかできないかなあ?! 楽しくできないかなあ?! と、地域の方といつも話をしています。

私たちの協議会は、何でもお金を出せば良いという考えではありません。何かをやりたい人に、協議会の定例会でプレゼンテーションをしていただき、協議会で事業支援をしていくカタチになっています。

2つの小学校、2つの中学校からの提案を実現したり、地域の史跡を回りながら、子供からお年寄りまでを繋ぐイベントを共催したり、人生のエンディングをテーマに実例を紹介しながら未来の準備のお手伝いをしました。私たちの協議会は、楽しく、着々と進化していることに、感謝しております。

これからも木曾地区協議会は、地域の課題に向き合い、ワクワクと子どもから、大人まで楽しめる地域をみんなで創っていきたいと思っております。

木曾地区協議会 一戸雅行

2025年度の事業計画

- 1 広報広聴事業 広報誌の発行
- 2 地域活性・交流事業
 - *ポイントラリー
 - *ヤングケアラー講演会
 - *エンディングノート講演会
 - *地震火災体験
 - *地域防災VR体験
 - *スポーツ促進事業(ボッチャ・モルック)
 - *ナダレンジャー
 - *いのちの授業

木曾地区協議会 構成団体

木曾地区連合町内会(14町内会・自治会)
 青少年健全育成忠生第三地区委員会
 青少年健全育成忠生第六地区委員会
 忠生第二地区民生委員児童委員協議会
 木曾境川小学校・忠生第三小学校・町田第三中学校
 木曾中学校・町田総合高等学校・ひかりの子保育園
 町田市消防団第4分団・忠生第2高齢者支援センター
 町田第1高齢者支援センター・木曾商工ネット
 町田市社会福祉協議会・きそっち (計16団体)

地域防災学習

1月13日に木曾境川小学校の5年生を対象に、つくば科学教育マイスターのDr.ナダレンジャー・納口恭明氏による防災科学実験ショーに参加し、科学的な物の見方からメカニズムをとおして災害について勉強しました。



エンディングノートセミナー

11月9日に木曾地区協議会会長で税理士の一戸雅行さんを講師に招き、忠生木曾会館にてエンディングノートセミナーを開催しました。将来、病気になったり介護が必要になったとき、自分らしく暮らすために、どんなことを考えて備えればいいのか「わたしの思い手帳」を活用しながら、参加者みんなで考えました。



スポーツ推進事業

地域住民が容易にできるボッチャ、モルックをとおして、健康増進と交流から地域のさらなる活性化と拡充を図る事業です。今年度は小学生の放課後の居場所となっている「まちとも」にて、ボッチャに取り組みました。



木曾の地域&歴史ポイントラリー

3月7日に好天に恵まれるなか、忠生第三小学校と上宿ふれあい公園をスタート、木曾観音堂をゴールとする木曾の地域&歴史ポイントラリーを開催しました。町田街道を中心とした神社や史跡など全9カ所を巡り、ポイントを集めます。ゴールでは集めたポイントを使い、様々なゲームを楽しむことが出来る工夫もしました。当日は約200名の方にご参加いただき、子どもたちや保護者、地域の皆様の交流を深めるとともに、地元の歴史や施設を楽しみながら知る貴重な機会となりました。



本イベントはJ:COMの取材を受け、その様子は地域情報アプリ「ど・ろーかる」で視聴できます。



※「ど・ろーかる」アプリから「エリア町田・川崎」、「ジモトトピックス」3月14日放送回。

地震・火災の模擬体験研修

1月29日に忠生第三小学校、1月30日に木曾境川小学校にて、災害模擬体験会を行いました。児童、保護者、木曾地区協議会構成団体の方が両日で約270人が参加し、地震・火災・洪水の模擬体験をしました。浸水・火災体験では、現実世界に災害の映像を重ねてその場で災害が起きているかのように体験できるAR体験を、地震体験では仮想空間であるVRでの体験をしました。



いのちの授業

10月27日に町田第三中学校の1年生、3月5日に3年生を対象に、また3月9日には木曾中学校の3年生を対象に「いのちの授業」を開催しました。当日は赤ちゃんにふれたり、妊婦体験をしたり先生から命がどのように生まれるかなどのお話を聞き、いのちの尊さについて学びました。中学生からは、「妊婦体験で7~8kgの赤ちゃんをずっと抱えたり、その状態でくつ下を履く体験をすることで妊婦さんの辛さがよく分かりました。」「産まれてきた赤ちゃんはかわいいがミルクやおむつ替えなどで大変だと思いました。自分のお母さんも全世界のお母さんもすごいんだと改めて実感しました。」との感想をいただきました。

